

広島県知事の湯崎です。

感染者が急激に増え始め、県独自の警戒基準値を超えている項目もあることから感染状況をステージ1から2へ引き上げました。

感染状況は、これまでの大きな山の直前に似ており、予断を許さない状況です。これ以上の感染拡大を防ぐために、皆様にご協力をお願いしたい4つのメッセージをお伝えします。

1つ目「他の地域への往来に注意」

2つ目「親しき仲にもマスクあり」

3つ目「休む勇気・休ませる配慮」

4つ目「あなたの早期受診がみんなを守る」 です。

1つ目の他の地域への移動についてです。

移動先の感染状況や、都道府県が出す情報などを確認して、リスクが高い地域への移動や施設の利用は控えてください。

中でも不要不急の外出自粛の要請がでている地域と、直近7日間の新規陽性者数が10万人当たり15人以上出ている地域への移動は、改めて必要性を十分に

検討し、慎重に判断してください。

具体的には時期の変更やオンラインへの切り替えなどのご検討をお願いします。

なお、対象地域については、県のHPなどでも公開しています。

2つ目「親しき仲にもマスクあり」です。

これまで、食事中や車の中などマスクを外すシーンでの感染事例が多く見られています。

食事の際はどうしてもマスクを外すと思いますが、飛沫が飛ばないように距離を空けていただき、お店はアクリル板などの飛沫防止を行っているところを選んで頂くようお願いします。

3つ目は「休む勇気・休ませる配慮」。

クラスターを発生させないために、体調に異変を感じたら、仕事を休み、医療機関に相談することが非常に大切です。

職場でも、従業員の方が休むことへの配慮を十分に行ってください。

特に、医療機関や高齢者施設の方は重症化リスクの高い方々を守るためにも積極的にご協力ください。

県も医療機関と高齢者施設等でのPCR検査を徹底します。

4つ目「あなたの早期受診がみんなを守る」。

早く検査を受けることはご自分のためだけではありません。

風邪症状など体調が悪い時は、出勤や外出は控え、まずはかかりつけ医か

「積極ガードダイヤル」にお電話ください。

検査が可能な医療機関は今は1,000施設を超え身近な場所で検査ができるよ

うになっていますのですぐにご相談ください。

今後、県としては、状況を注視しながら、極力、行動制限を行うことなく

皆様が日常生活を続けられるよう、検査受診・相談体制の強化、聞き取り調査

を徹底して積極的に感染の抑え込みに取り組んでまいります。

感染の広がり防止には皆様お一人お一人のご協力が欠かせません。

広島県で一丸となって、積極的にガードしていきましょう。